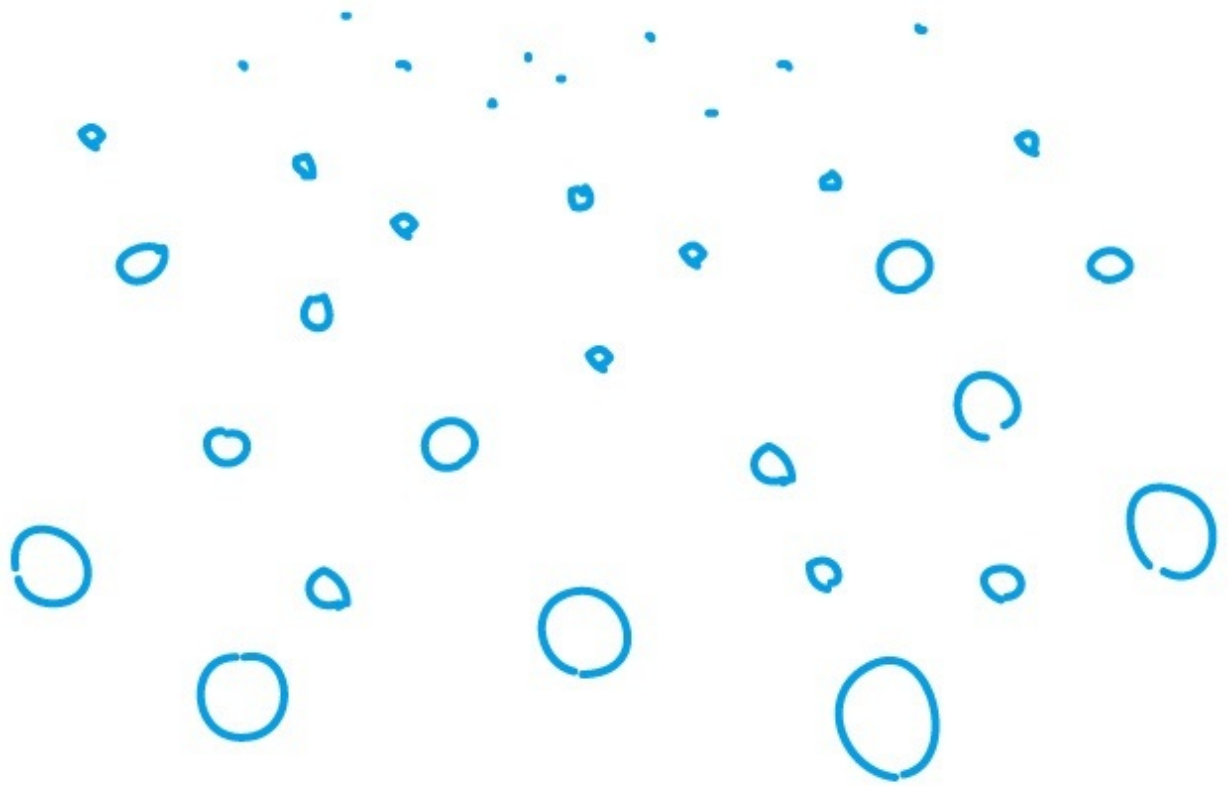


ゆきまるまちゃん



作・siokke

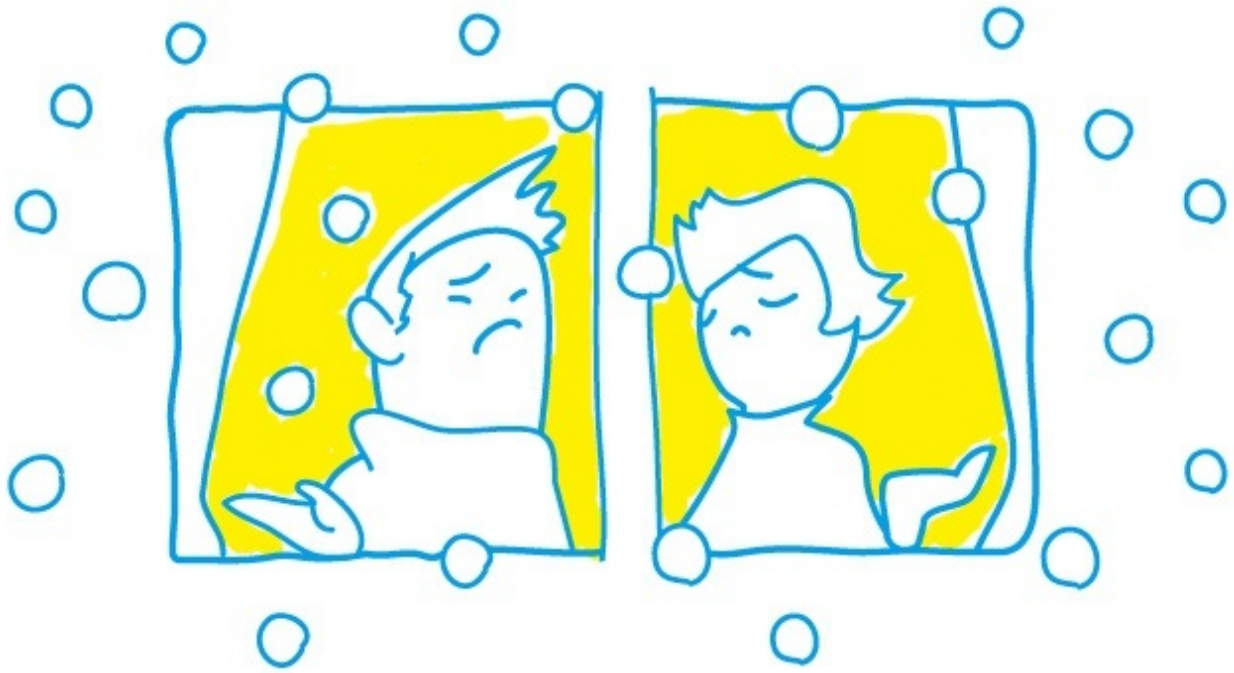


しん、しん、しん

そらからなにかふってきた。



しろくてつめたいゆきがふる。
しん、しん、しんとふりつもる。



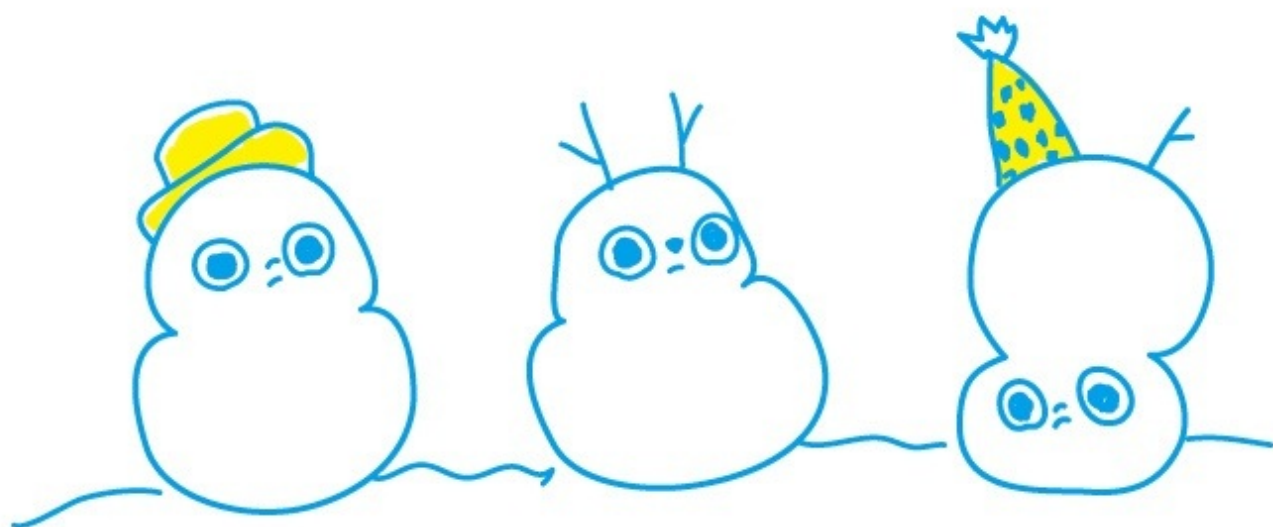
「ゆきなんかだーいっきらいさ。」

さむがりなおとなたちはいえのなか。



「ゆきだ、ゆきだ！」こどもたちはおおよろこび。

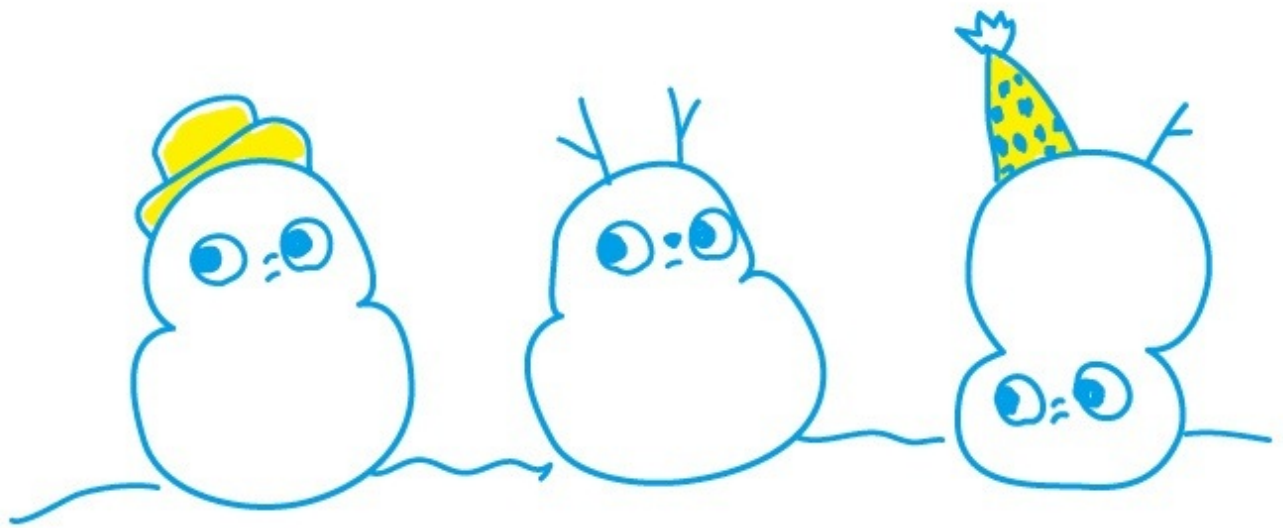
ゆきをあつめてなにかつくりはじめたぞ。



「とくせいゆきだるまのできあがり！」

「どのゆきだるまもかたちがまあいい。」

「なまえはゆきまるまちゃんにしよう。」



「そろそろごはんのじかんだね。」

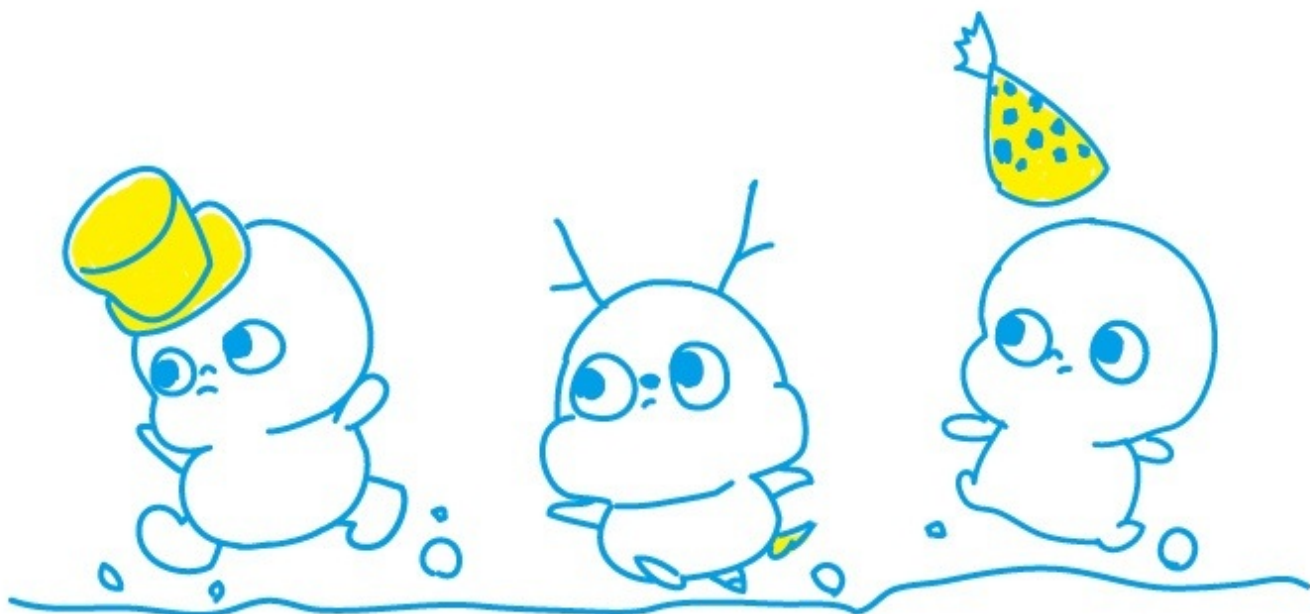
「きょうはもうかえろう。」

「またあしたね、ゆきまるまちゃんたち。」



こどもたちのすがたがみえなくなると
ゆきまるまちゃんたちからとあしがによきり。

「いそがなくっちゃ、いそがなくっちゃ！」



はしりだす、ゆきまるまちゃんたち。

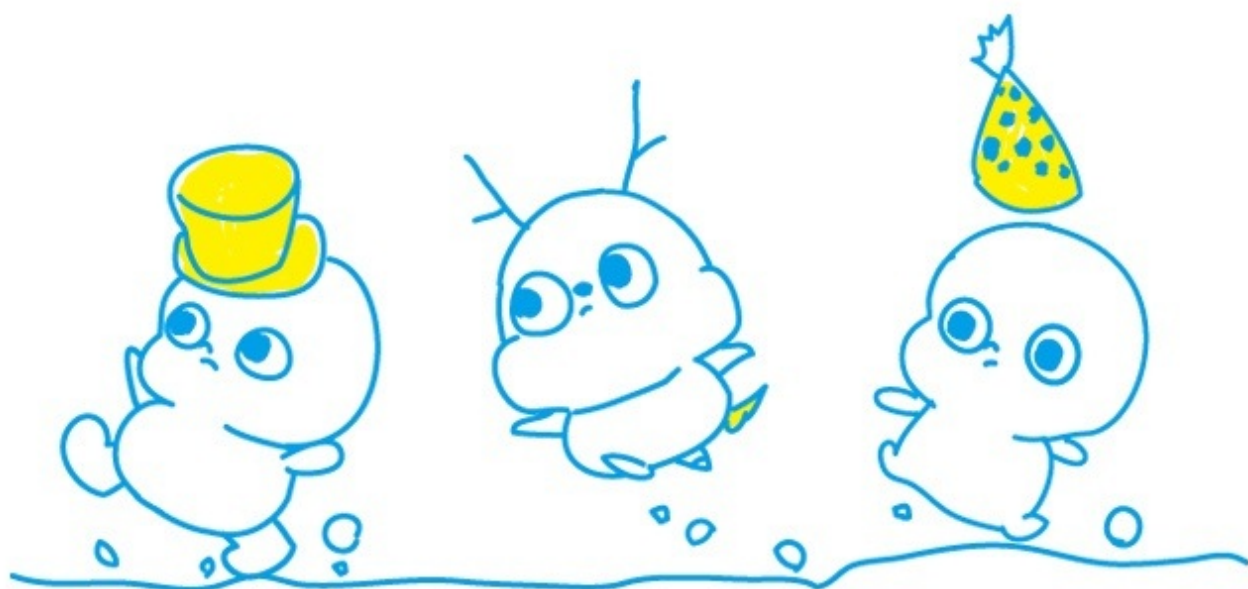
「いそがなくっちゃ、いそがなくっちゃ！」



「あそこにチョコレートいりのかんがある！」

ゆきまるまちゃんたちはぴたっととまると

チョコレートをもぐもぐぺろり。



「おなかもいっぱい！いそがなくっちゃ！」

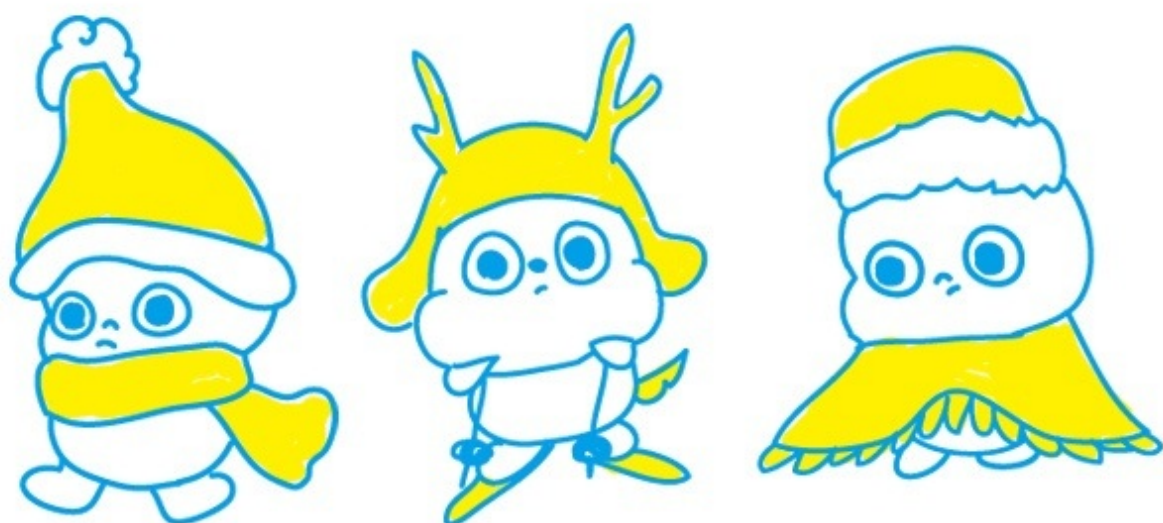
ふたたびゆきのうえをはしるゆきまるまちゃん。



「あっちにマフラーとぼうしがおちてる！」

ゆきまるまちゃんのひとりがとおくをゆびさすと

そこにむかって「いそがなくっちゃ！」



「なんてすてきなぼうしにマフラー！」

「スキーもぼくにぴったりだ」

ゆきまるまちゃんたちはおおはしゃぎ。



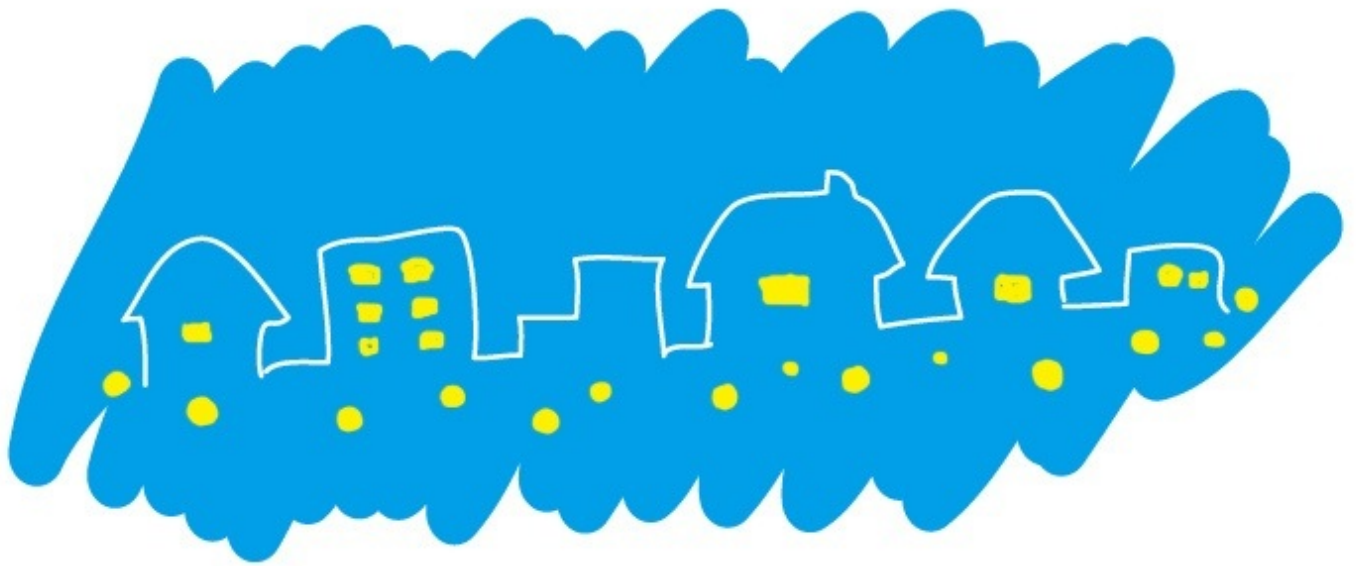
おてだまにスキーにダンス…。
やすむひまもなくあそびつづける
ゆきまるまちゃんたち。



あたりはすっかりまっくらやみ。

そらにはみかづきとほしがちかびか。

「あれもぼくたちみたいにふってくるのかな？」



まっくらやみのまちのあちこちにも
ちかぴか、ちかぴかとあかりがともると
「あれはなんだろう。」とゆきまるまちゃん。



いそいでひかっているところへいってみると
あちこちにひのともされたろうそく。

「とってもきれいだ。これはなんだろう？」



「なんだかからだがふわふわする。いろもきれい！」

そういうとゆきまるまちゃんたちはくるくると

ろうそくのまわりをまわってダンス。



すると…あれあれ？

ゆきまるまちゃんたちなにかへん！

とろとろとろとろとけていく。



それでもゆきまるまちゃんたちは
ダンスをやめずにくるくるくる。
からだはとろとろとろとろとけていく。



ゆきまるまちゃんのからだはまるでみずのよう。

それでもきょうのたのしいひをおもいかえし

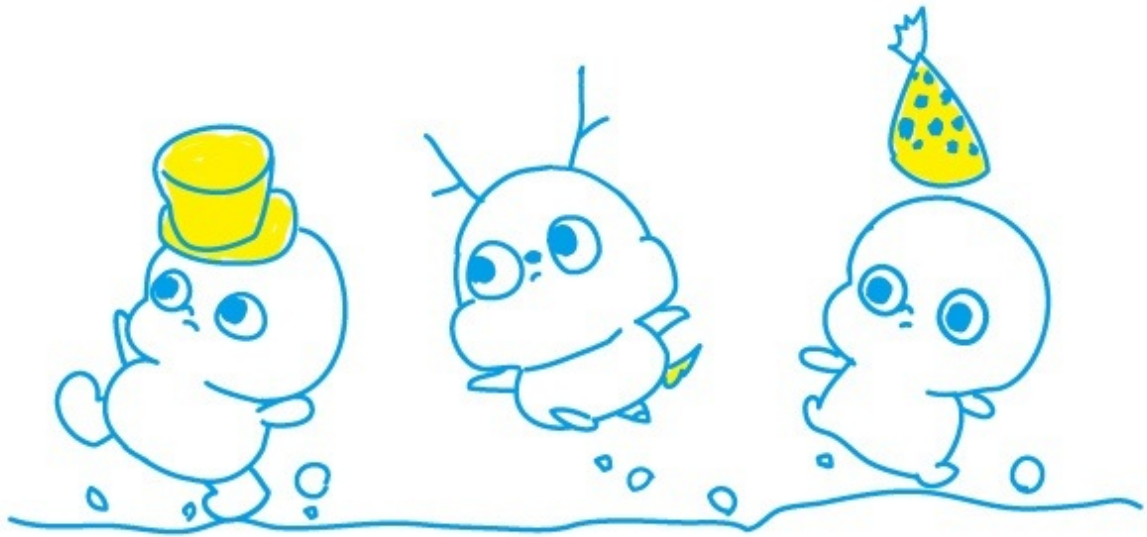
ゆきまるまちゃんたちはだいまんぞく。



「そらからみてたこどもたちのあそび。」

「こどもたちがたべてたチョコレート。」

「ぴかぴかしてからだがふわふわするもの。」



「はしるといろんなすてきなことがあるんだね。」

「こどもたちはずっとあそびつづけられていいな。」

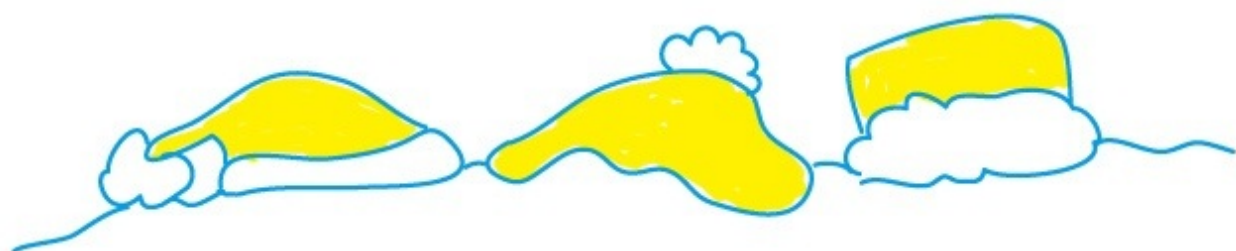
「ぼくたちはこれだけあそべたらじゅうぶんさ。」



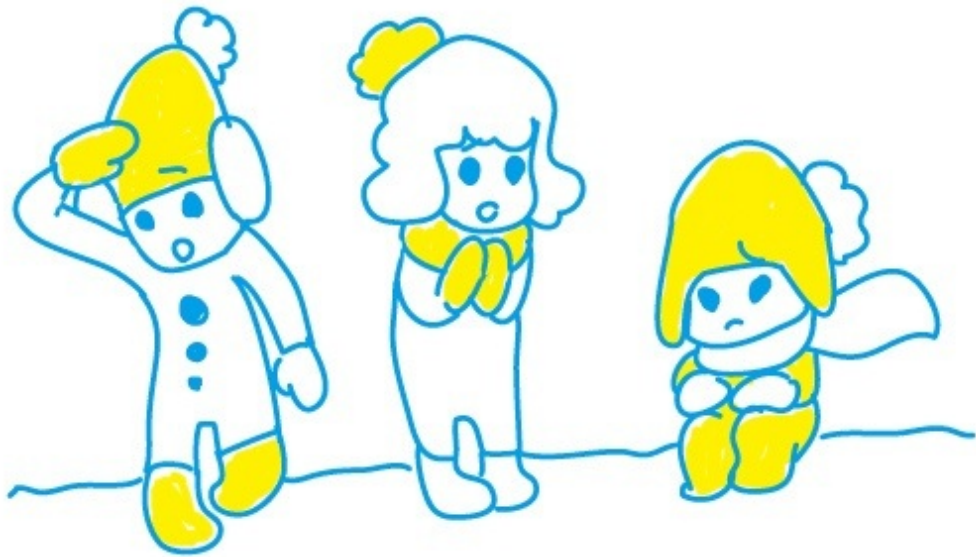
「それにしても、いまのぼくたちって…」

「くちのなかでとろけるチョコレートみたいだ。」

「チョコレートになるっていうのもいいね。」



そういと、ゆきまるまちゃんたちのすがたは
どこにもなくなってぼうしだけがゆきのうえに。
ゆきまるまちゃんたちはどこにいったんだろう？



ゆきまるまちゃんにあいにきたこどもたち。

「あれ？きのうここでつくったはずなのに。」

「ゆきまるまちゃん、どこにいるのー？」



これはこどもたちがもってきたチョコレート。

「いそがなくっちゃ、いそがなくっちゃ！」

おやおや？どこかできいたこえがする。



「いそがなくっちゃ、いそがなくっちゃ！」

「つぎはもっととおくまでたびをするぞ！」

おしまい